

オオキンケイギク等

特定外来生物

拡散防止にご協力ください

6月から7月頃に咲いている黄色のコスモスのような花…それはオオキンケイギクかも？

オオキンケイギクの拡散防止のために（お願い）

- 1 オオキンケイギクを家へ持ち帰ったり（運搬）、種を播いて育てたり（栽培）しないでください。
- 2 所有地内でオオキンケイギクを発見したら、駆除し、乾燥させてからビニール袋で密閉し、燃やすごみに出してください。
- 3 オオキンケイギクが生えている周囲の土は種子が含まれているため、他の場所に移動させないでください。



オオキンケイギクの駆除方法

自宅の庭など
小規模な場合



根ごと掘り取り

種子による繁殖を防ぐため、開花時期の6月までに駆除してください。なお、地下茎の枝分かれによっても繁殖するので、必ず根ごと掘り取るようにしてください。

畑や空き地など
大規模な場合



6・8月の
2回刈り取り

6・8月の2回刈り取りを数年間行うことにより、ほとんどのオオキンケイギクを駆除することができます。




6月に1回目の刈り取り



8月に2回目の刈り取り

オオキンケイギクの特徴

| | |
|-----|--|
| 花 | 黄色で6～7月頃に咲きます。 |
| 茎 | 高さ30～70cm |
| 葉 | 対生または互生し、先が少しふくらんだ細長い葉で、両面に毛が生えています。 |
| 生息地 | 金沢市内の全域で発見されています。 |
| 備考 | <p>キバナコスモスによく似ています。葉の違いで見分けることができます。</p>  <p>← キバナコスモスの葉は、1～2回羽状に深く分裂し、ギザギザしています。</p> |



オオキンケイギク
(キク科 多年草)

オオキンケイギクはなぜ駆除しなければならないの？



オオキンケイギクは、もともと日本に生育していなかった植物(外来生物)です。観賞用や緑化のために外国から持ち込まれました。繁殖力が強いので、河川敷などで大群落をつくるようになり、もともと河川敷にいた植物が減少・消失していくという問題が全国で起こっています。

現在、外来生物法で特に問題となる外来生物として「特定外来生物」に指定されています。

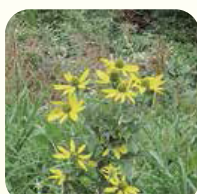
金沢市で生育・生息が確認されている特定外来生物(全9種)



オオキンケイギク



アレチウリ※①



オオハンゴンソウ※①



オオカワヂシャ



ウシガエル※①



アライグマ※②



オオクチバス



コクチバス



ブルーギル

※① 写真提供:石川県
※② 写真提供:環境省



オオキンケイギクなどの**特定外来生物**は、
外来生物法で右の行為が**原則禁止**されています。

飼育 栽培 運搬 保管 輸入
人に渡す(譲渡) 野外に放つ など

お問い合わせ

金沢市 環境政策課 自然保護係

TEL: 076-220-2507 FAX: 076-260-7193

E-mail: kansei@city.kanazawa.lg.jp